

## 平成 26 年度 所管事業の実績の概要

### I いのちの教育の基礎となる家庭教育と乳幼児期の教育を支援する

#### 1 家庭教育支援の充実

##### (1) 家庭教育推進事業

子どもの「生きる力」につながる資質や能力を培う上で、重要な役割を担う家庭教育を充実させるために、家庭教育を支援する以下の施策を実施した。

##### ①家庭教育推進協議会の設置

ア 山形県家庭教育推進協議会（6月、2月の2回）

11名の委員を委嘱し、家庭教育の充実と家庭教育支援を推進する事業等の方策について検討した。

イ 県家庭教育アドバイザーの委嘱

29名の県家庭教育アドバイザーを委嘱し、教育事務所ごとに実施する家庭教育出前講座や「やまがた子育て講座」等の講師等を務めていただいた。

##### ②家庭教育電話相談「ふれあいほっとライン」の開設

家庭教育や子育てに不安や悩みを持つ親等からの相談に応じるため、電話等による相談を実施した。（相談件数 183 件：2月現在）

##### ③やまがた子育て講座（国補助事業）

家庭教育に関する学習機会等の充実を図るために市町村と連携し、主に小学生を持つ親に対する家庭教育にかかわる学習機会を提供した。

今年度は、30市町村 177箇所で開催しており、講話だけでなく、グループワークや座談会等、参加者が主体となる講座の実施を推進した。

##### ④家庭教育出前講座（国補助事業）

多忙のため家庭教育の学習機会に参加できない親等に対応するため、講師が事業所等に出向いて、仕事と子育てや家庭教育の大切さなどについての講座を行い、理解と認識を深めた。

番号	訪 問 先 (H26.1月現在)	市町村	参加者数	講 師
1	山形市高校生の子を持つ親の会	山形市	33	※伊藤洋子氏
2	神町電子株式会社（保育園）	東根市	27	※細谷俊裕氏
3	旭ニット株式会社	金山町	33	※佐藤栄起氏
4	医療法人永井病院	最上町	26	※黒田三佳氏
5	株式会社セゾンファクトリー	高畠町	28	※高橋まゆみ氏
6	南陽市青年サークル	南陽市	12	堀川敬子氏
7	公立置賜総合病院	川西町	43	高橋啓子氏
8	すこやかレディースクリニック	鶴岡市	31	※本間俊美氏
9	マイゲル運営協議会	鶴岡市	24	長南 光氏
10	株式会社マルハチ	庄内町	18	※後藤敬子氏
11	県立鶴岡中央高校1年	鶴岡市	268	※後藤敬子氏
12	県立庄内総合高校1年	鶴岡市	108	※後藤敬子氏

13	県立庄内農業高校3年	庄内町	84	※後藤敬子氏
14	進和ラベル株式会社	上山市	40	佐藤廣子氏
15	白鷹町立病院	白鷹町	14	※錦 啓氏

※県家庭教育アドバイザー

### ⑤家庭教育支援フォーラム（国補助事業）

身近な地域における家庭教育支援体制の充実を図るために、家庭教育支援者の研修及び情報交換等を県内4地区で実施した。

No.	地区	実施日	市町村	テーマ（講師・形態）	参加者
1	村山	10月9日（木）	寒河江市	「気になる子への支援～家庭・園(学校)の連携～」 講師：花輪敏男氏	73
		2月27日（金）	山形市	「地域で支える子育て・家庭教育支援」 パネリスト：村山恵子氏・白田慶和氏 コーディネーター：金澤和子氏	29
2	最上	5月31日（土）	新庄市	「家庭や地域におけるいのちの教育」 講師：後藤敬子氏	74
3	置賜	11月19日（水）	米沢市	「親子 Happy time の 作り方」 講師：丸山ちはや氏	118
4	庄内	11月25日（火）	庄内町	「保護者同士が交流し、学び合うPTA 研修のあり方を考えよう」 講師：加藤真知子氏 事例紹介・ワークショップ	13

## （2）地域人材による家庭教育支援推進事業（H26・27 開発予定）

（公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム事業：国庫公募型委託 10/10）

地域における新たな家庭教育支援を充実させるために、身近な地域の公民館に「地域相談室」を開設し、地域人材（シニア世代）による「家庭教育支援チーム」を組織して、不安や悩みをもつ親（主に学齢期の親）が気軽に相談できる仕組みづくりと支援が届きにくい家庭（親）へのアウトリーチ支援のための効果的な手法を開発する。

- 委託団体：天童市家庭教育相談事業実行委員会（天童市）天童中部公民館等
- 東根市家庭教育相談事業実行委員会（東根市）神町公民館

## 2 幼児共育の推進

### （1）幼児共育推進事業

「家庭」「幼稚園・保育所等」「地域」が連携して幼児期の子どもを育む『幼児共育』を推進するために、以下の施策を実施した。

#### ①幼児共育普及推進会議の設置

ア 各地区幼児共育普及推進会議の開催（各年2回）

幼稚園・保育所関係者等を委員に委嘱し、市町村が実施する「幼児共育ふれあい活動」の効果的な実施と幼児共育の普及推進等について検討した。

## イ 幼児共育の普及・啓発

幼児共育ポスター及びリーフレットを県内幼稚園・保育所等に配布した。

### ②幼児共育ふれあい広場（国補助事業）

三者の連携による親子のふれあいを大切にした様々な体験活動等を提供した。

今年度は、27市町村125箇所で開催しており、地域や自然とのかかわりを大切にした様々な親子の体験活動の実施を推進した。

## 3 読育の推進

### (1) 読育推進ネットワーク整備事業

子どもの健全な心身の発達を促し、本好きな子どもを育てるために、乳幼児期からの「絵本の読み聞かせ」の普及・啓発を図り、家庭における「読育（どくいく）」を推進するために、以下の施策を実施した。

#### ①読育推進ネットワーク研修会

乳幼児期からの「絵本の読み聞かせ」を普及啓発するために、子どもの読書活動の推進にかかわる関係者の研修及び情報交換等を県内4地区で実施した。

No.	地区	実施日	市町村	テーマ（講師・形態）	参加者
1	村山	9月11日（木）	寒河江市	「乳幼児期からの読育」 ①実践事例紹介（上山市、中山町） ②講演：武田詩子氏（前寒河江市立図書館長） ③実演：渡邊裕子氏（県家庭教育アドバイザー）	56
		2月26日（木）	山形市	「みんなで学ぼう えほんのきほん」 ①講演・実演：武田詩子氏 （前寒河江市立図書館長）	37
2	最上	11月7日（金）	新庄市	「スマホより親の温もりと肉声を…そこで絵本」 ①実践事例紹介（金山町） ②講演：加藤美穂子氏（アシード代表）	39
3	置賜	11月19日（水）	米沢市	「地域みんなで始めよう！乳幼児期からの読み聞かせ」 ①実践事例紹介（川西町、しんちゃんおはなし会） ②講演：丸山ちはや氏（「虹色の部屋」主宰）	43
4	庄内	5月29日（木）	庄内町	「いつでもブックスタート、これからもブックスタート」 ①講演・演習：本間俊美氏 （県家庭教育アドバイザー）	20

#### ②読育推進連携講座「博物館での読み聞かせ会」

子どもの豊かな心をはぐくむために、自然科学や歴史等と読み聞かせを組み合わせさせた魅力的な読み聞かせ講座を県立博物館・図書館と連携して実施した。

No.	実施日	参加者	内容
1	9月11日（木）	親子21組61名	「化石のレプリカづくり」と「読み聞かせ会」
2	11月7日（金）	親子17組41名	「読み聞かせ会」と「勾玉づくり」

## Ⅱ 子どもと大人の「まなび」や社会力を高めるかかわりの充実を図る

### 1 少年期の教育の充実

#### (1) 放課後子どもプラン推進事業

放課後や学校外における子どもたちの安全で健やかな居場所づくりと、地域の教育力の再生を図る趣旨で、文部科学省「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省「放課後児童健全育成事業」が連携し「放課後子どもプラン」として推進を図った。

##### ① 県推進委員会の設置（5月16日、2月20日実施）

13名の委員を委嘱し、県子育て推進部子育て支援課との連携を図りながら、県の推進方策や県事業の実施計画及びその評価、次年度事業の方向性等について協議した。

##### ② コーディネーター研修会の実施

○期日：9月24日（県生涯学習センター） 参加者：46名

○演習：「子どもが満足する放課後・土曜日の居場所づくり」

○講演：「放課後の教育活動の充実を図るために」-コーディネーターの意義と機能-

○講師：人と教育をつなげる教育デザイン研究所 代表理事 吉田 和夫氏

##### ③ 指導者研修会の実施

		村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区
第1回	期日	5月30日(金)	6月18日(水)	5月21日(水)	6月6日(金)
	参加者	119名	39名	95名	150名
	場所	村山総合支庁	新庄山屋 セミナーハウス	米沢市 すこやかセンター	三川町公民館
	内容	○講演 「学校外でおこりうる問題行動」 花輪敏男氏 (FR教育臨床研究所)	○実技講座 「持ちネタボリュームアップ」 高橋浩幸氏 (県神室少年自然の家)	○講演 「全ての子どもを包み込む、みんなが気持ちいい支援」 花輪敏男氏 (FR教育臨床研究所)	○講演 「気になるあの子との関係づくり」 横矢真理氏 (子どもの危険回避研究所)
第2回	期日	6月11日(水)	10月9日(木)	5月22日(木)	7月2日(水)
	参加者	170名	34名	39名	90名
	場所	天童総合運動公園	最上総合支庁	置賜総合支庁 西庁舎	鶴岡市 農村センター
	内容	○講演 「学校外でおこりうる問題行動」 花輪敏男氏 (FR教育臨床研究所)	○講演 「保護室とのよい関係づくり」 小野田正利氏 (大阪大学大学院)	○講演 「全ての子どもを包み込む、みんなが気持ちいい支援」 花輪敏男氏 (FR教育臨床研究所)	○講演 「(K)きっと(Y)やくに(T)たつ～危険予知トレーニングと情報交換～」 宮田浩一氏 (酒田市子ども育成連合会)
第3回	期日	9月19日(金)	12月21日(日)	5月29日(木)	7月9日(水)
	参加者	192名	36名	51名	42名
	場所	東根市 中央公民館	新庄市民プラザ	南陽市 沖郷公民館	遊佐町 生涯学習センター

	内 容	○実技①～④ レクリエーションと事故への対応、折り紙・工作、野外ゲーム、読み聞かせ 石井勝氏 他 (ポポーの広場) 他	○講演 「これからの学童保育に期待されていること」 真田祐氏 (全国学童保育連絡協議会)	○講演 「全ての子どもを包み込む、みんなが気持ちいい支援」 花輪敏男氏 (FR教育臨床研究所)	○講演 「(K)きつと(Y)やくに(T)たつ～危険予知トレーニングと情報交換～」 宮田浩一氏 (酒田市子ども育成連合会)
第4回	期 日	2月26日(木)	—	7月15日(火)	9月11日(木)
	参加者	253名		75名	44名
	場 所	山形国際交流プラザ		置賜総合支庁	三川町公民館
	内 容	○講演 「これからの学童保育に期待されていること」 真田祐氏 (全国学童保育連絡協議会)		○講義 「子ども・子育て支援新制度について」 林昌宏氏 (県子育て支援課)	○講演・実技 「やってみよう！明日からできるプログラム」 吉永哲也氏 他 (押切音読会) 他
第5回	期 日	—	—	11月18日(火)	11月26日(水)
	参加者			168名	116名
	場 所			長井市生涯学習プラザ	三川町公民館
	内 容			○講演 「子どものために手をつなぐ」 小野田正利氏 (大阪大学大学院)	○講演 「子ども達の放課後のこれから」 岡村美由紀氏 (県学童保育連絡協議会)

#### ④市町村補助事業の実施

ア 運営委員会及びコーディネーターの設置

イ「放課後子ども教室」の実施＝ 31市町村 107箇所

ウ「放課後児童クラブ」の実施＝ 34市町村 276箇所

## (2) 学校支援地域本部事業

地域住民の積極的な学校支援ボランティア活動を通じて学校と地域の連携体制の構築を図り、学校の教育活動を充実させるとともに、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図るために、学校支援地域本部の設置を推進した。また、学校・家庭・地域の連携の在り方や推進の方策等について調査研究を実施し、各市町村の情報収集と分析を行うとともに、優れた「学校支援モデル」を普及させるために研修会を開催した。

### ①運営協議会の開催 (6/13、2/6の年2回の実施)

11名の委員を委嘱し、県内小中学校の学校支援ボランティアの活動状況を把握し、今後の事業の進め方等について協議した。

### ②地域コーディネーター研修会の開催

○期日：6月27日(県生涯学習センター) 参加者：69名

○情報交換：「学習支援」「環境支援」の充実のために

○パネルディスカッション：「学校を核とした地域コミュニティの活性化」

○パネリスト：山形大学大学院教授 江間 史明氏

大石田町教育委員会（コミュニティ・スクール） 鈴木 和典氏

もがみサポート塾（最上中学校支援地域本部） 浅井 真氏

### ③市町村補助事業の実施

ア 実行委員会の設置及び地域コーディネーターの配置

イ「学校支援地域本部」の設置＝ 21市町村 62本部 83校

### ④学校支援体制の在り方に関する調査研究

ア「学校支援モデル」調査・研究

県内4地区（河北町、鮭川村、川西町、庄内町）においてモデルとなる学校支援地域本部を指定し、各教育事務所の社会教育主事・指導主事のサポートのもと、既存の学校支援体制の充実を図った。

イ 学社連携授業研究会

	村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区
期 日	10月15日(水)	6月24日(火)	10月4日(土)	7月16日(水) 8月28日(木)
参加者	47名	50名	40名	25名 48名
場 所	溝延小学校 (河北町)	最上広域教育 研究センター	大塚小学校 他 (川西町)	余目第二小学校 庄内町響ホール
内 容	○公開授業 第5学年道徳「主題：生命尊重」の学習支援 ○全体会 ・公開授業振り返り ・西川町事例発表 ・総括	○事例発表 ・日新小学校支援地域本部 ○情報交換会 ○全体指導 片桐隆嗣氏 (東北芸術工科大学)	○アトラクション ○公開授業(学校行事)体験学習 (パソコン、剣玉、グラウンドゴルフ、ダンス、手芸、木工、調理) ○全体会 ・モデル本部(大塚小)概要説明 ・公開授業振り返り ・西川町事例発表 ・助言	○公開授業 第2学年国語科「むかしのお話を読む」 ○情報交換会 ・公開授業振り返り ・ワークショップ ・助言 ○講演・演習 「声に出し、体を使い、本の楽しさをつたえよう」 西澤和子氏 (朗読集団長月の会)

### (3) 伝承芸能育成事業「子ども伝承活動ふるさと塾」

子どもの郷土愛の醸成、地域コミュニティの活性化、地域文化の保存・伝承を通じて、子どもの社会力の育成を目指し、親から子、子から孫の代へ「ふるさと山形」のよき生活文化や知恵、伝統芸能などを教え合い、学び合いながら、伝承していく活動を推進するため、以下の施策を実施した。

①指導者研修会・出前講座の実施（1月末現在）

	指導者 研修会	出前講座	指導者研修会 兼 出前講座	合計（回）	参加者数 （名）
村山地区	1	3		4	138
最上地区	1	11		12	156
置賜地区		10	1	11	453
庄内地区		9		9	858

②日本一さくらんぼ祭り「民俗芸能のつどい」の開催

○日 時： 6月21日（土）11:00～16:00

○場 所： 山形市七日町～本町の路上3カ所の特設ステージ

○参加者： 出演者及びスタッフ数・約400名 観客数・約3,000名

○出演団体：大人5団体 子ども8団体

③市町村総合交付金による市町村への活動支援

対象 35 市町村中、大石田町を除いた 34 市町村で実施

④記録保存システム（ふるさと塾アーカイブス）の運用

ふるさと塾活動映像 203 コンテンツ・視聴覚教材 59 コンテンツを、県生涯学習センターホームページに公開中。（1月末現在：民俗芸能のつどい 2014 を含む）

⑤目標数値 ふるさと塾賛同団体数【平成 28 年度 300 団体】

（平成 27 年 2 月末現在 284 団体）

**（4）やまがた・ふくしま青少年少女交流事業**

①交流会の実施 年4回の開催

ア 春の交流会

・期 日：6月27日（金）～29日（日）2泊3日

・場 所：山形県朝日少年自然の家

・内 容：地元小学生等との交流（うどん作り・流しうどん体験、自然の冒険）、  
プラネタリウム鑑賞、さくらんぼ狩り体験 等

・参加者：90名（福島37名 高校生24名 協力者9名 山形20名）

イ 夏の交流会

・期 日：8月16日（土）～19日（火）3泊4日

・場 所：山形県金峰少年自然の家分館海浜自然の家および飛島

・内 容：野外炊飯、ドミノたおし、飛島散策、海水浴、魚釣り、飛島学講座、  
海岸漂着物クリーン作戦、加茂水族館見学 等

・参加者：45名（福島19名 高校生7名 協力者8名 山形11名）

ウ 秋の交流会

・期 日：10月24日（金）～26日（日）2泊3日

・場 所：山形県神室少年自然の家

・内 容：地元小学生との交流（芋煮づくり、トレッキング、ミニコンサート、  
たき火体験、野外炊飯 等）

・参加者：61名（福島21名 高校生15名 協力者10名 山形15名）

エ 冬の交流会

・期 日：1月10日（土）～12日（月）2泊3日

- ・場 所：山形県飯豊少年自然の家
- ・内 容：地元小学生との交流（ナイターチューブすべり・うどん打ち・中華まんづくり・スノーシューハイキング等）、フラワー長井線乗車体験等
- ・参加者：44名（福島20名 高校生9名 協力者8名 山形7名）

## 2 青年期の教育の充実

### (1) 地域青少年ボランティア活動推進事業

「山形方式」と呼ばれる地域青少年ボランティア活動の推進のため、中央センターと四つの地区センターを設置して、情報の収集・提供や研修・交流機会の拡充を図った。

#### ①中央センター事業（県青年の家）

##### ア 山形県地域青少年ボランティア推進会議

県内の青少年ボランティア活動の推進方策を検討するとともに、各地区センターの事業計画の検討と評価を行った。

##### イ YYボランティアビューローの設置

県内の青少年ボランティア活動に関する各種情報を収集し、インターネット等を通じて広く発信するとともに、「出前講座」の実施（7回）により活動実践者やボランティアサークルへの支援を行った。

また、ボランティア活動に興味を持つ青少年に、ボランティア活動を体験できる機会を紹介するリーフレットを作成し「季節ごとの体験ボランティア」という名称で、県内一円でボランティア活動機会の提供を行った。

(ア) 期 間 夏：7月～9月、冬：12月～1月

(イ) 場 所 県内全域

(ウ) 内 容 ボランティアサークル・団体・施設等が企画するボランティア活動機会の提供

(エ) 対 象 県内全ての小中高生及び一般

(オ) 実 績 【夏季】35市町村 83団体 99企画 参加者数686名

【冬季】27市町村 54団体 67企画 参加者数集計中

##### ウ YYボランティアサミット

県内各地域の青少年ボランティアサークルが一堂に会し、日常の実践活動の発表を通して学び合い交流を深めた。

(a) 期 日 平成26年12月20日（土）～21日（日）

(b) 場 所 県青年の家

(c) 参加者 36名（中学生3名、高校生29名、青年・指導者等4名）

(d) 内 容 [1日目] 活動発表、アイスブレイク、実習、交流会  
[2日目] 地域貢献活動について考えるワークショップ

#### ②地区センター事業（4教育事務所）

##### ア 地区地域青少年ボランティア推進会議の設置

各地区の実践、活動、事業に関する情報を交換しながら、地区内の青少年ボランティア活動の推進に向けた諸施策について協議した。また、活動アドバイザーを委嘱し、地区内のサークルやボランティア実践者へ助言するなどの支援を行った。

##### イ YYボランティアセミナー

各地区の中高生を対象に、主体的な計画立案と、人とのかかわりを重点として、ボランティア活動を実践する講習会を実施した。



地区	村 山		最 上	置 賜	庄 内
期日	6/14(土)~17(月)	7/29(火)~30(水)	7/30(水)~8/1(金)	8/6(水)~8(金)	8/6(水)~8(金)
参加者	20名(高校生)	135名(中学生)	15名(中・高生)	23名(中・高生)	56名(中・高生)
場所	県青年の家	県青年の家	神室少年自然の家	飯豊少年自然の家	金峰少年自然の家
内容	アイスブレイキング、 講義、実技講座、 企画演習、施設訪問・ 交流実習	アイスブレイキング、 講義、企画演習、 施設訪問・交流実習	アイスブレイキング、 実技講座、企画演習、 施設訪問・交流実習	アイスブレイキング、 講話、実技講座、 青年交流会への参加	アイスブレイキング、 講話、実技講座、 企画演習、施設訪問・ 交流実習

## (2) 青年交流事業

青年グループの代表等 52 名を委員とする「青年交流会企画運営委員会」を設置し、「青年交流会」を開催するとともに、青年の実践力や社会力の向上を図るため、各支部活動において「学び合い地域活性化推進プロジェクト」を実践した。

また、地域をリードする青年の育成に向け、「青年交流会企画運営委員」経験者等 15 名により「青年会議」を設置し、本事業の課題と方向性について検討するとともに、「青年交流会企画運営委員会」の活動に対し、指導助言を行っている。

### ①青年会議

○第 1 回会議 5 月 17 日(土) 事業計画と役割の確認

○第 2 回会議 2 月 22 日(日) 次年度の事業実施に向けた検討

### ②青年交流会(全県)

○期 日：11 月 29 日(土)~30 日(日)

○場 所：山形県青年の家、村山市総合文化複合施設「甕葉プラザ」

○参加者：31 団体、青年約 200 名、一般来場者約 1,000 名

○内 容：【1 日目】山形あつまり EXPO 2014 ~ふるさと元気まつり~  
夕食交流会

【2 日目】地域貢献について考えるワークショップ

### ③学びあい地域活性化推進プロジェクト

地区	村 山 (委員 11 名)	最 上 (委員 14 名)	置 賜 (委員 14 名)	庄 内 (委員 13 名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝承野菜の調査研究</li> <li>・紹介リーフレット作成 2200 部</li> <li>・道の駅等へのリーフレット配布</li> <li>・会議 14 回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の笑顔と地域の名所旧跡等を紹介するプロモーションビデオの製作(協力者約 450 名)</li> <li>・会議 13 回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域間世代間交流イベントの開催(おきたま 8 輪ピック 8/30~31.川西町.約 60 名)</li> <li>・会議 17 回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年交流団体交流イベントの開催(わちゃわちゃ庄内フェスティバル 10 月 12 日.三川町.24 団体約 200 名)</li> <li>・会議 13 回</li> </ul>

### 3 成人期の教育の推進 4 高齢期の教育の推進

#### (1) 成人期・高齢期教育担当者研修事業

##### (学びと協働による地域コミュニティ活性化事業・社会教育職員研修)

成人期・高齢期における豊かで活力ある地域社会を形成するためのよりよい生涯学習の機会と場を提供できるよう以下の研修会を実施した。

##### ①成人期・高齢期教育領域

No.	地区	実施日	開催地	講師	参加者
1	村山	7月18日(金)	寒河江市	齋藤 彰氏(県社会教育委員)	29
2	最上	10月8日(水)	新庄市	高橋 由和氏 (NPO きらりよしじまネットワーク事務局長)	19
3	置賜	8月26日(火)	南陽市	櫻井 常矢氏(高崎経済大学教授)	61
4	庄内	11月21日(金)	三川町	桂 才賀氏(落語家)	101

### Ⅲ 「まなび」を育み、かかわりの機会を充実するための環境をつくる

#### 1 連携協力の推進

##### (1) 学校支援地域本部事業(再掲)

##### (2) 放課後子どもプラン推進事業(再掲)

##### (3) P T A指導者研修事業(社会教育研修事業)

県内のP T A活動に携わるリーダーが一堂に会し、P T Aの運営や活動に関する先進事例の発表をもとに研修を深め、これからのP T A活動の活性化と、家庭・学校・地域を結ぶP T Aのリーダーとしての資質の向上を図った。

##### ①県P T A指導者研修会

○期 日：平成26年7月5日(土) 参加者約150名

○場 所：県生涯学習センター「遊学館」(山形市)

○内 容：全体会(県優良P T A表彰、講演)及び各校種別の研修会

##### ②優良P T A表彰事業

○優良P T A県教育委員会表彰選考委員会(5月26日)

県教育委員会表彰団体として、小学校7校、中学校5校、高等学校2校の計14団体を選出し、県P T A指導者研修会で表彰した。

- ・河北町立北谷地小学校 PTA
- ・大町立本郷東小学校 PTA
- ・鮭川町立鮭川小学校 PTA
- ・米沢市立六郷小学校 PTA
- ・高島町立糠野目小学校 PTA
- ・三川町立東郷小学校 PTA
- ・酒田市立西荒瀬小学校 PTA
- ・村山市立葉山中学校 PTA
- ・寒河江市立陵西中学校 PTA
- ・南陽市立沖郷中学校 PTA
- ・鮭川町立鮭川中学校 PTA

- ・酒田市立第四中学校 PTA
- ・山形県立山形北高等学校 PTA
- ・山形県立酒田東高等学校 PTA

### ③ P T A 研修資料作成

P T A 活動の活性化を図るための資料とするために、県内の優良 P T A 団体の実践を紹介した「これからの P T A No.44」を作成し、各単位 P T A、市町村教育委員会等に配付した。

## (4) 視聴覚教材普及事業

視聴覚教材の自作化を奨励し、視聴覚教育活動の振興を図るため、山形県視聴覚ライブラリー協議会及び公益財団法人山形県生涯学習文化財団と共催で自作視聴覚教材コンクール及び視聴覚教材制作技術講習会を実施した。

### ① 県自作視聴覚教材コンクール中央審査会（発表会）

各地区の審査を経て中央審査会に出品された作品を学校教育部門、児童生徒作品部門、社会教育部門の 3 部門で審査を行った。

○期日：平成 27 年 1 月 31 日

○会場：県生涯学習センター「遊学館」（山形市）

○中央審査会に出品数：計 36 本

- ・学校教育部門 13 本（DVD ビデオ 5 本、紙芝居 7 本、パソコン作品 1 本）
- ・児童生徒作品部門 6 本（DVD ビデオ 4 本、紙芝居 2 本）
- ・社会教育部門 17 本（DVD ビデオ 5 本、紙芝居 12 本）

○入賞数：最優秀賞 7（DVD ビデオ 4 本、紙芝居 3 本） 優秀賞 13

### ② 視聴覚教材制作技術講習会

郷土資料等となる自作紙芝居制作講習を行い、作品制作にかかわる基本的な考え方や効果的に思いを伝えるための脚本作り、絵の構成や語り的手法等について技術の向上を図った。

○会場：県生涯学習センター（山形市） 参加者 23 名（のべ 45 名）

○開催日程：①7/23（水）②8/9（土）③8/23（土）④10/5（日）

## (5) 社会教育関係団体の支援

### ① 社会教育関係団体事業費補助金

社会教育関係団体の健全な運営と活動の活性化を図るため、次の団体が実施する事業について助成した。

○山形県婦人連盟（婦人団体事業費補助金：84 千円）

○山形県 P T A 連合会（P T A 連合会事業費補助金：46 千円）

○山形県高等学校 P T A 連合会（P T A 連合会事業費補助金：27 千円）

○山形県特別支援学校 P T A 連合会（P T A 連合会事業費補助金：37 千円）

○ボーイスカウト山形県連盟（ボーイスカウト事業費補助金：42 千円）

○山形県社会教育連絡協議会（山形県社会教育連絡協議会事業費補助金：110 千円）

## ②教育文化フォーラム運営費補助金

教育文化の振興及び発展に資するため、団体運営費について助成した。

## 2 社会教育施設的环境整備

### (1) 県立図書館の整備・充実

公立図書館との連携強化、調査相談（レファレンス）の充実等を図るとともに、企画展や子どもを対象とした体験型イベント、「読育」フェスティバルや博物館への絵本の出張展示を行い、県民の読書活動の推進と利用拡大に努めた。また、地下書庫に移動式書架を増設し、収蔵可能冊数を拡大した。

### (2) 県立博物館の整備・充実

山形デスティネーションキャンペーンと連動したプライム企画展「未来に伝える山形の宝」を開催し、県内外の来館者に対し山形の魅力の紹介を行った。

入館者が安全で快適に利用できるよう、本館1階階段の滑り止め工事や展示室床の補修等を行うとともに、各種講座やイベント等の開催、解説ボランティアの配置など文化学術拠点としての博物館機能の強化を図り、魅力ある博物館活動の充実に努めた。

### (3) 青少年教育施設の整備・充実

利用者が安全に充実した研修を行えるよう館内設備や野外施設の改修工事等を行うとともに、防災拠点としての機能を拡充するためグリーンニューディール基金により金峰・飯豊・神室少年自然の家に太陽光発電設備を設置した。

青少年教育施設を拠点に地域での体験活動を推進するため、起業支援型地域雇用創造事業により金峰・飯豊少年自然の家とNPO法人とが協働し、企画事業や受入研修の充実に努め、利用者が安全で快適にできるように施設の整備・充実に努めた。

## 3 社会教育推進体制の充実

### (1) 県社会教育委員の会議（15名）

昨年度から3回の会議を行い、社会教育の推進と生涯学習の振興のあり方や施策について意見をいただく機会を得た。特に第171回の会議では、「県社会教育委員の会議で取り組んで行きたいこと」をテーマにしたワークショップを行い、県社会教育委員の役割について、あらためて考える機会としていただいた。また、第173回では、第4次山形県生涯学習振興計画を受け、生涯学習検討委員会を兼ねて実施し、生涯学習推進委員会の取り組みについてご意見をいただいた。

○第171回定例委員会議 5月30日（金） 県庁

○第172回定例委員会議 9月12日（金） 県庁

○第173回定例委員会議 3月12日（木） 県庁

## (2) 社会教育主事養成事業

### ①社会教育主事講習（前年度 19 名：県費 19 市町村 5）

○東北大学社会教育主事講習：受講者 15 名（内県費派遣 14 名 町職員 1 名）

- ・県内研修：6 月 16 日～17 日
- ・磐梯青少年交流の家研修：7 月 1 日～7 月 5 日
- ・東北大学研修：7 月 22 日～8 月 8 日

○国立教育政策研究所社会教育主事講習 [B]：2 名受講（村山市・最上町）

- ・研修期間：1 月 21 日～2 月 27 日

### ②社会教育主事有資格教員研修（新規）

- ・各教育事務所の計画で実施（のべ 1 6 0 名参加）

## (3) 学びと協働による地域コミュニティ活性化事業

### （社会教育関係職員講座・市町村研修等支援事業）

市町村の社会教育関係職員等を対象として、指導力の向上を図るための研修を実施した。

### ①社会教育関係職員初任者講座（山形県生涯学習文化財団と共催）

- |           |            |     |        |
|-----------|------------|-----|--------|
| ア 初任者講座 1 | 5 月 22 日   | 遊学館 | 81 名参加 |
| イ 初任者講座 2 | 1 1 月 18 日 | 遊学館 | 57 名参加 |

### ②社会教育関係職員領域別講座（家庭教育、青少年期、成人期・高齢期）

### ③社会教育関係職員スキル別講座（ファシリテート技術、広報資料作成技術）

### ④出前講座（市町村研修等支援事業：県社会教育連絡協議会との共催）

- ア アドバイザー派遣：18 市町村で実施（前年度 13 市町）

## IV 県民の主体的な学習活動の機会や環境の充実を図る

### 1 生涯学習推進体制

#### (1) 生涯学習施設の整備・充実（生涯学習センター事業）

生涯学習振興の中核施設である山形県生涯学習センター（「遊学館」及びセンター分館山形県緑町庭園文化学習施設「洗心庵」）の効果的かつ効率的な管理運営と、機能維持及び安全確保のため、設備等の更新及び修繕を行った。

#### ①県生涯学習センターの管理運営

山形県生涯学習センターについて、指定管理者（公益財団法人山形県生涯学習文化財団）による施設の適切かつ効率的な維持管理運営により、利用者へのサービス向上を図った。

#### ②県生涯学習センターの施設整備

生涯学習センターの機能維持と安全確保のため、設備の修繕を行った。

#### ③学習情報の収集提供

県民の主体的な学習活動を支援するため、様々な方法により広域的かつ総合的な学習

情報を提供した。

ア 学習情報収集・提供事業

再構築した山形県生涯学習情報提供システム、ホームページにより、県民ニーズにあわせた新鮮で確実な各種情報を提供するとともに、学習相談を実施した。

アクセス件数 47,311 件、学習相談 38 件（いずれも平成 27 年 1 月末時点）

イ 長寿社会情報ネットワーク推進事業

明るい長寿社会づくり連絡協議会関連事業を推進し、高齢者の生きがい健康づくりや社会参画に関する情報の提供を行った。

ウ 「ふるさと塾」推進事業

「ふるさと塾」に関する映像等を記録、インターネットを通じて公開し、ふるさと塾活動の支援基盤の構築を図った。（平成 27 年 1 月末時点公開数：200 件）

④生涯学習活動支援者の育成

地域における主体的な学習活動を推進するため、各種人材育成事業を実施した。

ア 生涯学習関係職員研修事業（5 月・11 月・12 月）

市町村生涯学習・社会教育関係職員の資質向上のため、研修を行った。

イ 地域生涯学習活動支援者育成事業（9 月）

子どもの読書活動を支えている読み聞かせボランティア等を指導できる人材の養成に焦点を当てた研修会（上級講座）を開催した。

ウ シニア地域実践活動支援事業

県内 9 地区の「山形シルバー観光ガイド」の養成及び活動支援を行った。

⑤県民主体の学習機会の提供

県民の幅広い学習ニーズに応えるため、山形学講座等の学習機会を提供した。

ア 「山形学」推進事業（6 月～11 月）

山形の特徴や特性を多面的に捉え、山形に生きることの意義や地域づくりを考えるため、山形学フォーラム、山形学講座（6 回）を開催し、学習成果をまとめた「遊学館ブックス」を発刊した。

また、県内外で地域学を実践している民間団体、高等教育機関、行政機関などが集い、地域等に関する情報を交換するための地域学交流集会を開催した。

イ 「仙人講座」開催事業（7 月～11 月）

長年培ってきた経験・知識を地域や社会貢献に活かし、地域のリーダー役として活躍できる高齢者を養成するため、仙人講座（5 回）を開講した。

ウ 地域を育む学習機会提供事業（10 月）

住民自ら考え、学んだことを活かし、地域づくりにどう参画すれば良いかなどの手法について、様々な切り口から学び、本県の地域コミュニティの活性化に繋げるため、地域文化創造セミナーを県内 3 ヶ所で開催した。なお、本セミナーは、文化庁の平成 26 年度「地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ」事業として開催した。

エ 生涯学習活動普及促進事業

生涯学習センター事業の内容や成果の報告、県内の活動事例の紹介などを通して、

県民の生涯学習への理解が深まるよう広報紙を発行した。(8月・12月・3月、各5,000部)

オ 「山形学」地域連携講座支援事業(助成:12団体)

山形学の振興を図るとともに、地域に根ざした生涯学習を推進するため、市町村や高等教育機関等が実施する地域学に関する体系的な講座に対して支援を行った。

カ 生涯学習活動支援事業(助成:21団体)

県民の映像学習教材制作や高校及び大学等の学習活動、市町村における生涯学習活動など、主体的に生涯学習に取り組む団体の活動を支援した。

キ 生涯学習活動実践団体との連携事業

自主的で創造的な生涯学習活動を実践している団体等と連携し、作家トークショーを行った。

## (2) 生涯学習推進委員会

○第1回委員会 5月27日(火) 県庁

山形県の生涯学習の推進を図るため、平成25年3月に、「第4次山形県生涯学習振興計画」を策定し、生涯学習に関する施策の総合的な企画及び調整、その推進を図るため、関係所属により構成する生涯学習推進委員会を設置している。

進行管理を通じて関係部局等が連携し、総合的に施策が展開されるよう努めた。

○第2回委員会 3月3日(火) 県庁

進行管理(事業実施状況の確認)及び事業評価を行った。

## (3) 生涯学習検討委員会

○平成26年度生涯学習検討委員会 3月12日(木) 県庁

第173回山形県社会教育委員の会議と兼ねて、生涯学習推進委員会の報告を受け、県生涯学習施策の進捗状況等を検討し意見を頂いた。

## V その他

### 1 諸会議

#### (1) 教育事務所等連絡会議

- ①教育事務所社会教育課長会議（年間3回開催） ①4/4～5 ②9/20 ③2/3  
②教育事務所社会教育主事会議（年間4回開催） ①4/15 ②5/2 ③9/11 ④2/14

#### (2) 社会教育施設連絡会議

- ①県社会教育施設長会議（年間3回開催） ①4/4.5 ②12/3 ③2/13  
②青少年教育施設研修担当者会議（年間3回開催） ①4/15 ②10/22 ③2/19

### 2 平成26年度文部科学大臣表彰

#### (1) 優良公民館

申請館なし

#### (2) 優良PTA表彰

- 村山市立葉山中学校PTA（村山市）  
三川町立東郷小学校PTA（三川町）  
山形県立山形北高等学校PTA（山形市）

#### (3) 社会教育功労者表彰

金澤 和子 氏（山形市）

#### (4) 視聴覚教育功労者表彰

土谷 義幸 氏（村山市）

#### (5) 子ども読書活動優秀実践図書館・団体

- 遊佐町立図書館（遊佐町）  
しんちゃんおはなし会（南陽市）

#### (6) 優れた「地域による学校支援活動」表彰

- 「わんぱく富本塾」富本小学校放課後子ども教室（村山市）  
「少年少女書道教室」土曜日の教育活動（大江町）  
「おおぞら教室」西郷小学校放課後子ども教室（鶴岡市）

#### (7) 優れた「早寝早起き朝ごはん」運動表彰

村山市立戸沢小学校（方言活用家庭教育訓による「早寝早起き朝ごはん」運動）